

## 1 コミュニケーションの拡充

## 現状

本市では、これまで広報紙やホームページ、水道モニター制度、施設見学（環境学習・社会学習）、マスコミなどのツールを活用し、市民の皆様へ水道事業に関する様々な情報を発信提供しています。



水道だより（広報紙）

沖縄市水道局独自の広報紙として、平成元年より創刊され、平成26年3月に創刊50号となりました。毎年2回発行しており、身近な水道のことから災害時の対処方法などを掲載しています。

おきなわ市の水道  
（ホームページ）

くらしや生活に関することや水質検査結果の公表、統計・入札・契約状況など営業活動に関する事等、水道事業について周知・理解をしていただけるよう、インターネット上で常時公開しています。

## 水道モニター制度

水道モニターとは、会議や施設・水道工事現場等の見学を通じ、水道事業についての見識を深めて頂き、市民の皆様のご意見・ご提案の把握に努めることにより、市民サービスの向上はもちろん、よりよい水道事業運営を目的として平成8年から実施しています。

第9期水道モニター会議及び工事現場見学の様子  
（第9期水道モニター 平成26年8月）

### 環境学習・社会学習

本市では、平成7年より小学生の親子で水道について学習してもらうことを目的とした親子水道施設バスツアー(親子80名を対象)を開催していました。平成24年からは、対象を市内小学校4年生全員に変更し、水道施設等見学バスツアーを開催しています(参加人数 約1,600名)。水道施設等を見学することにより水の大切さや水道を取り巻く環境を学習し、将来を担う子供たちに水道について理解を深めてもらう取り組みを積極的に行っています。



北谷浄水場の概要説明を  
熱心に聞く様子

北谷浄水場施設見学

海水淡水化施設内見学

### これからの取り組み

施設の大規模な更新事業や耐震化計画・危機管理対策・アセットマネジメントを踏まえた効率的な資産管理等、今後様々な事業運営を展開していきます。

事業運営についての計画や実施状況をしっかりと市民に公開し、合理的な経営活動を行っている事を周知・理解していただくことが重要であると考えています。

今後も市民のニーズを的確にとらえ、満足度の向上に資する取り組みを推進し、事業に対するパブリックコメントや水道モニター制度といった双方向の関わりをより重視し、水道に対する信頼性の更なる拡充を図っていきます。

#### 【関連する計画や取り組みなど】

- ホームページの拡充
- パブリックコメントの実施
- 事故・災害時における連携